

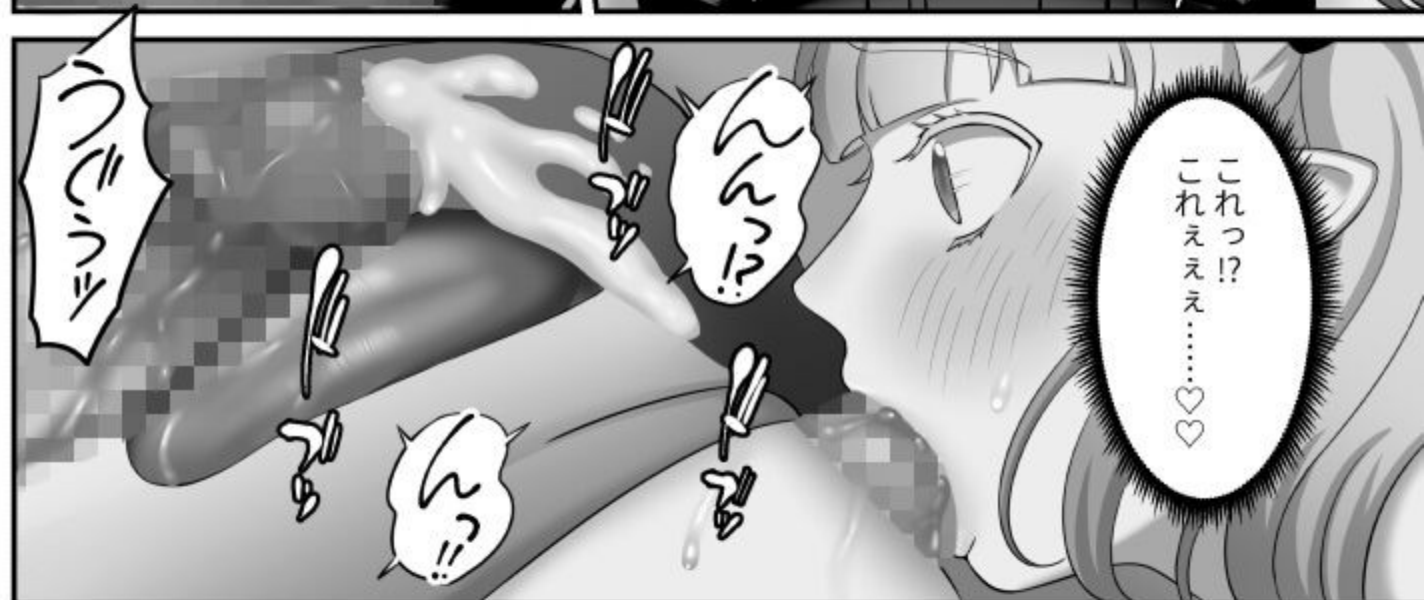


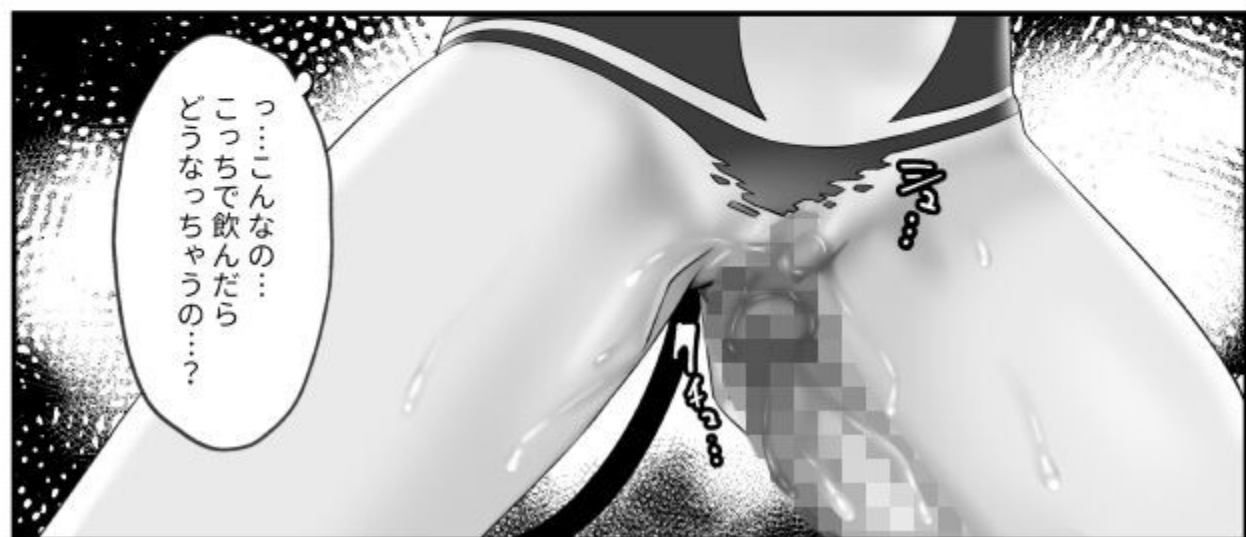
処女サキユバスは
おなか
子意がすいた















ああ緊張する...

でも...したい...
したくてたまらないっ...!



いよいよ...本番...



入って...くるうっ...!
私の中に...おちんちんがあっ...!

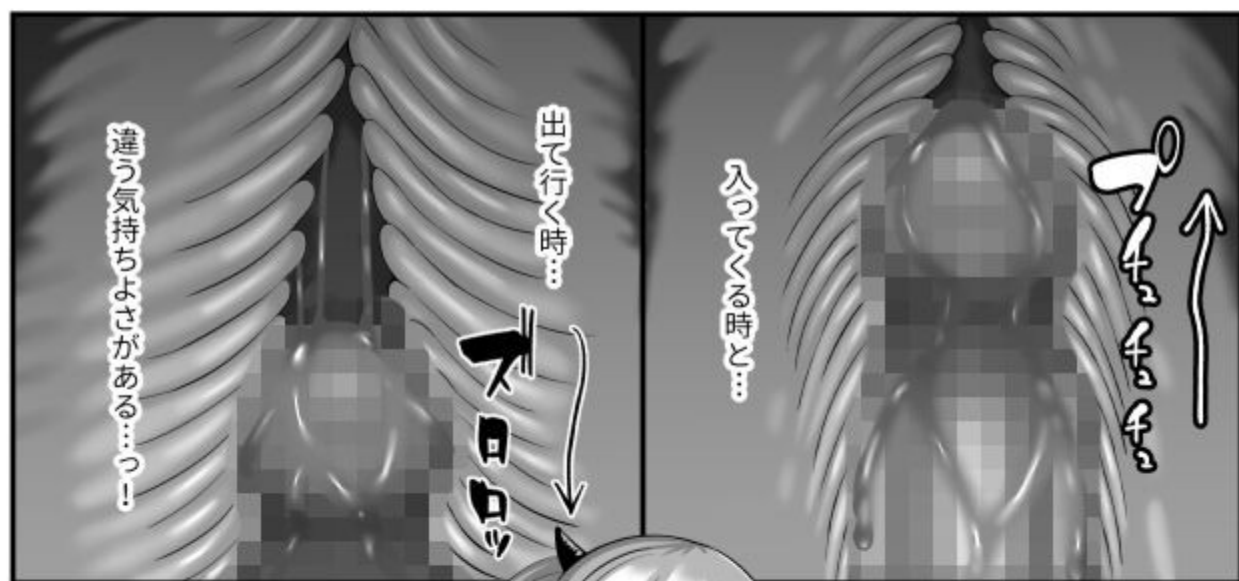
ああっ...
ちゃんとはいったあ...っ

私...処女じゃなくなったんだ...
これで一人前のサキュバスに...



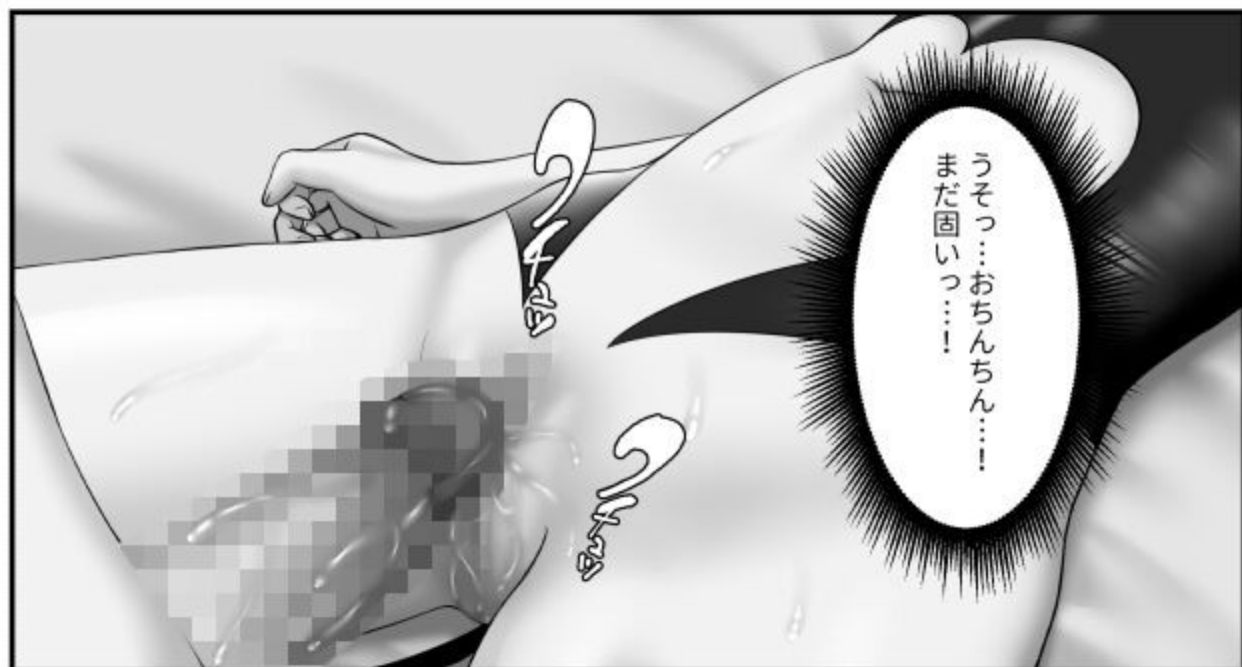
目の前に火花が散った後、
今まで私に足りていなかったものが
満たされていくような感覚がして、
身体が歓喜に打ち震えました。



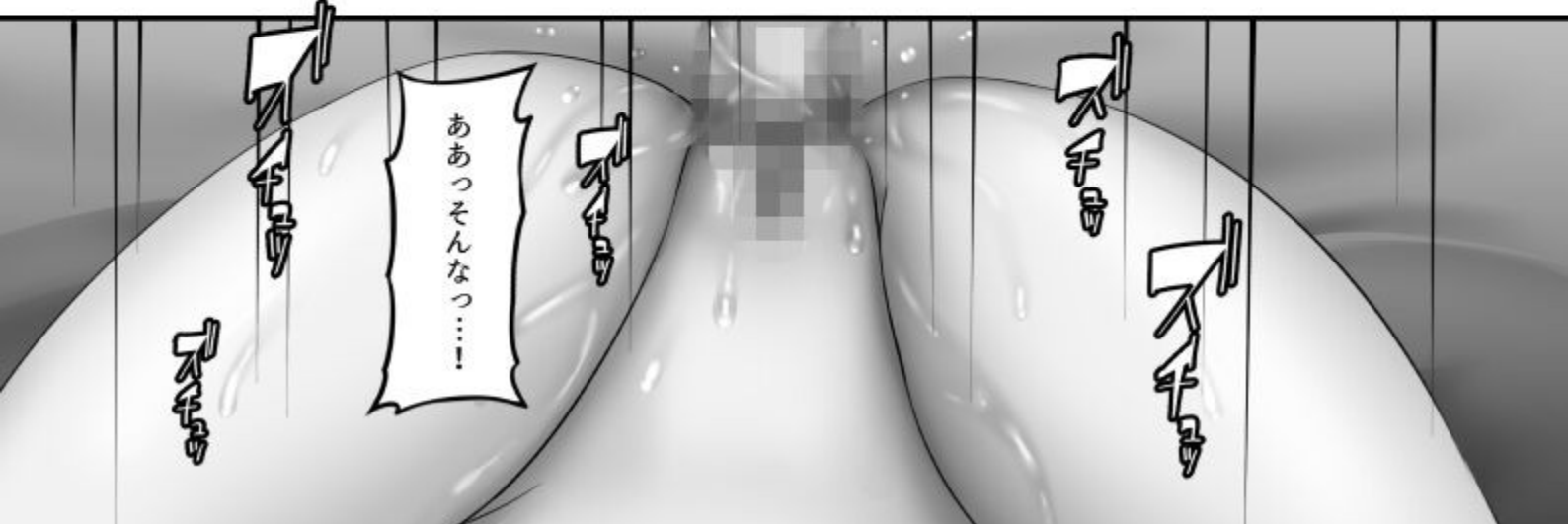
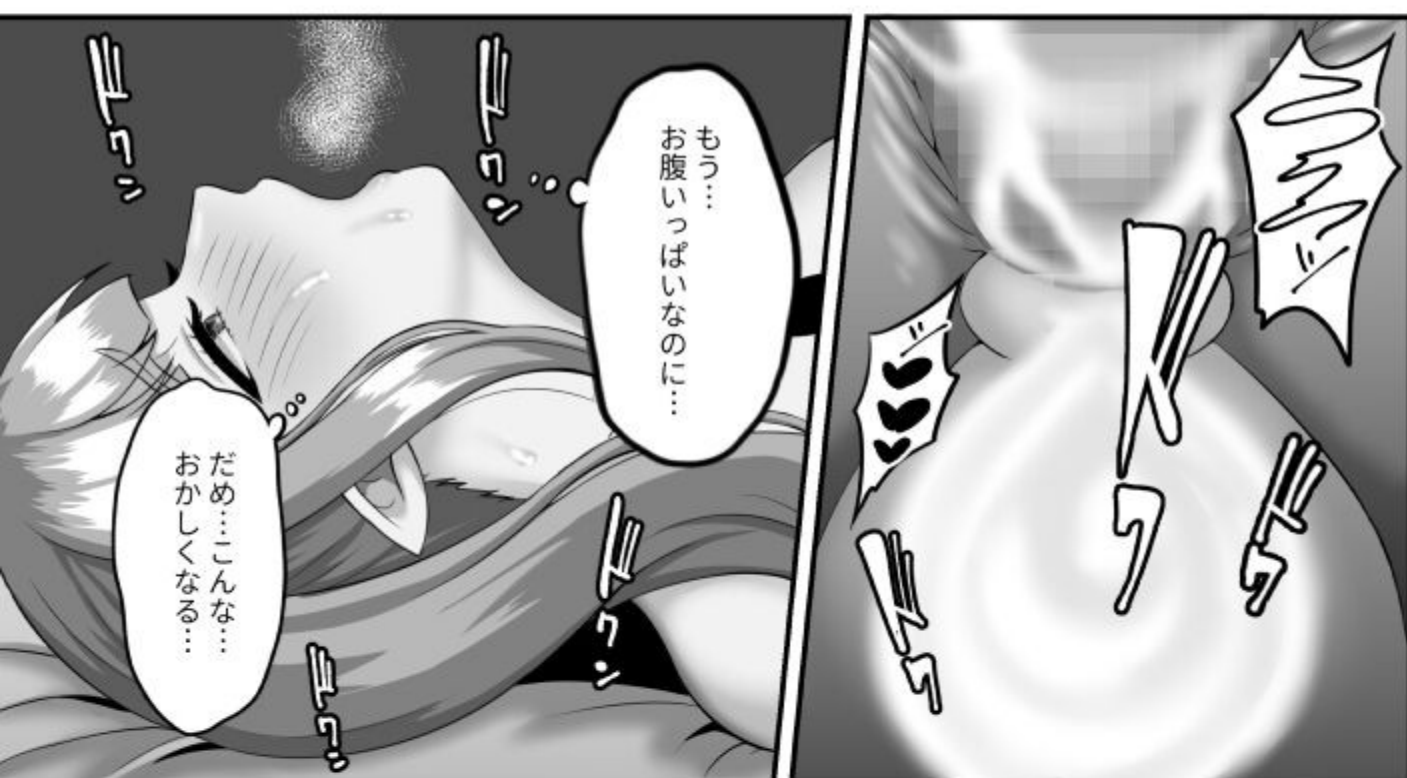




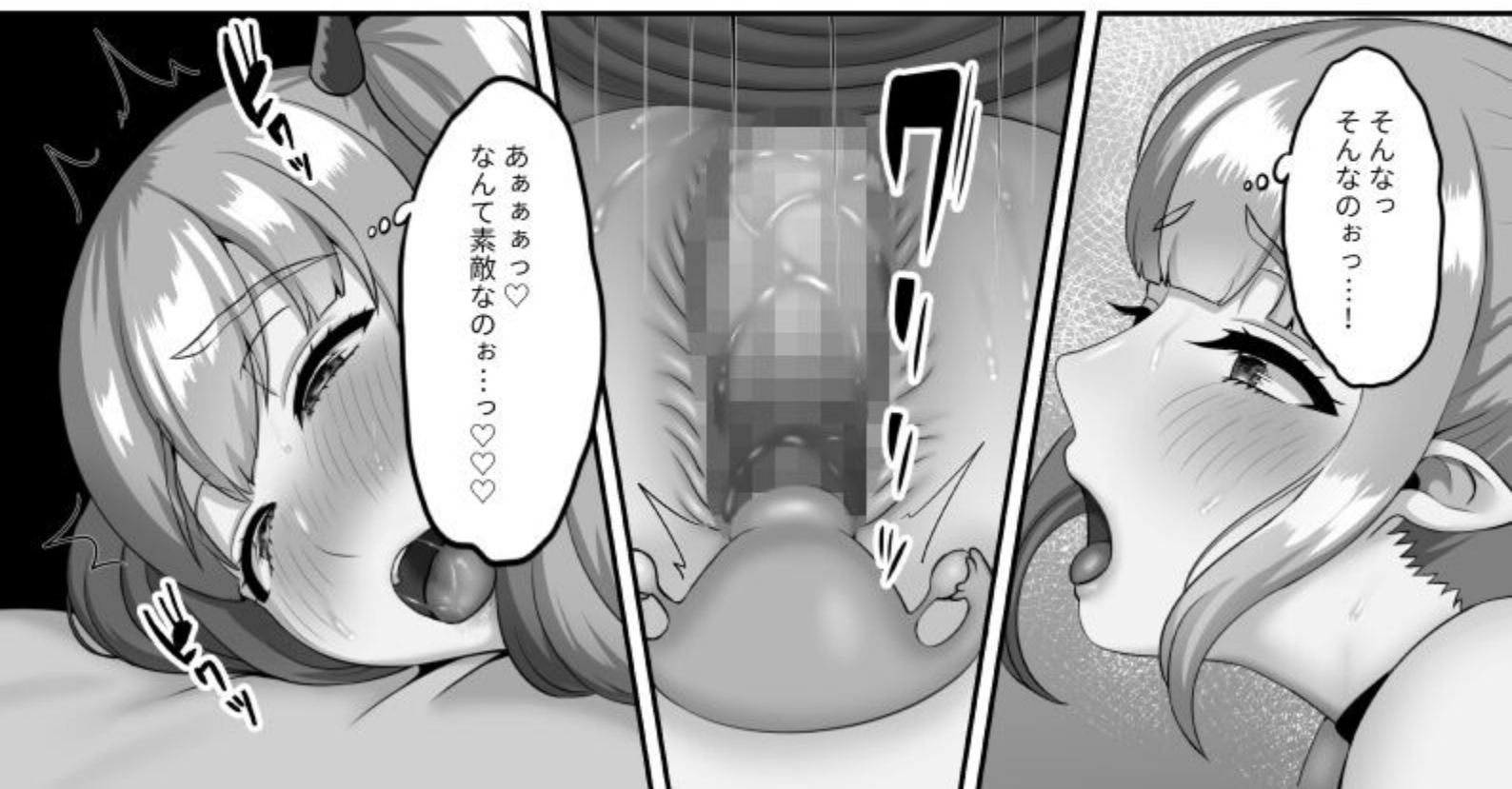
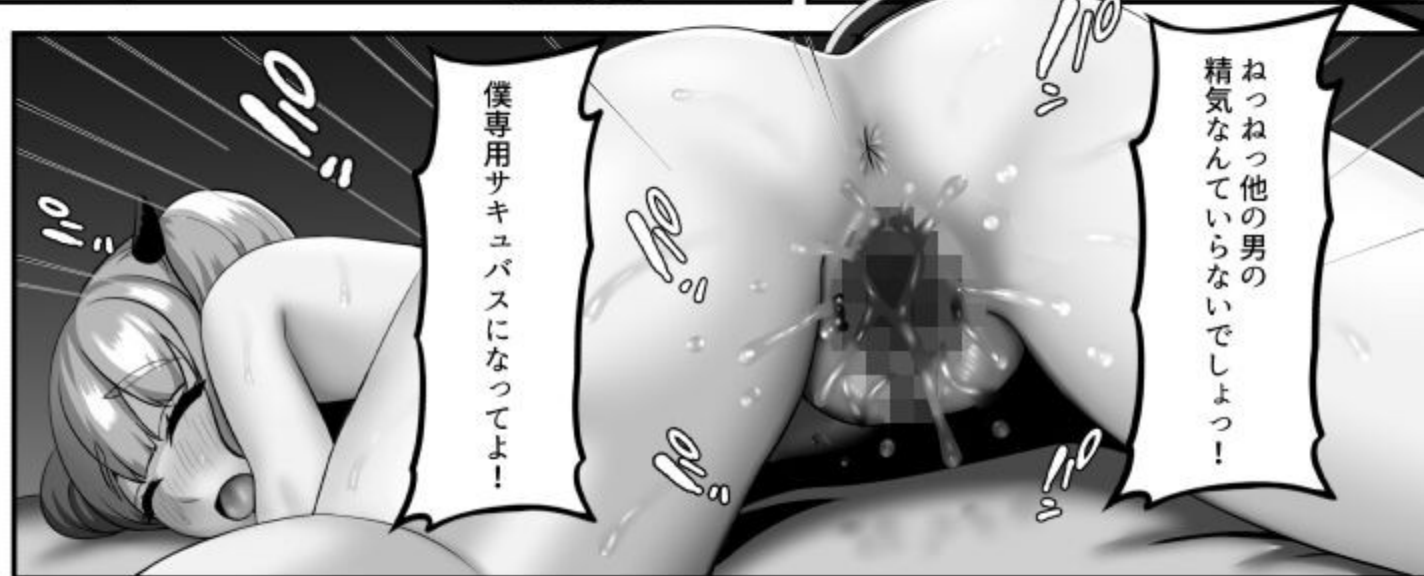


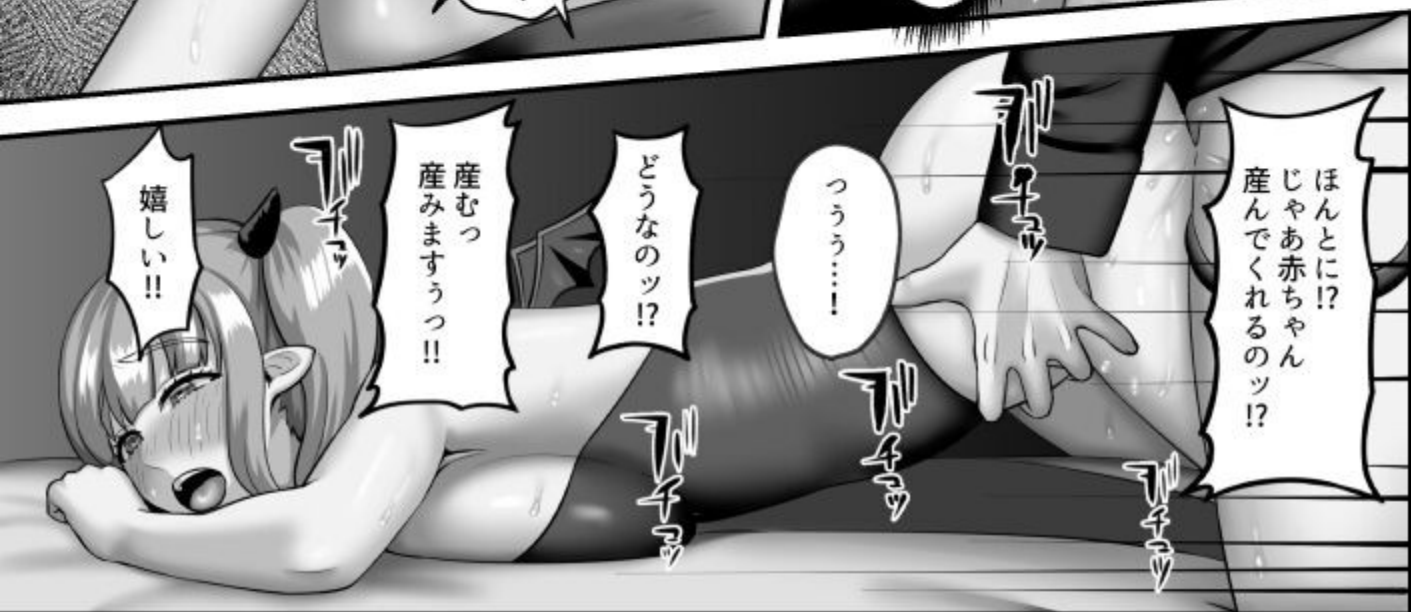














孕めええええッ!

ぐい

あゝ

ぐい

ぐい

はぁ

あゝ

はぁ

はぁ

あゝ

ああああ
しあわせえええ...



次の日になって、
私はいただいた精気を使い、
魅了の魔法をかけ直しました

とびきり強くて…
私のことがもっともっと
好きになってしまう魔法です…♡



日に日にお腹が
大きくなっていきました…♡



それからもたくさん
精を注いでもらって、



もっと…
もっと精気ください…♡



